



Title	ご挨拶
Author(s)	釜洞, 醇太郎
Citation	癌と人. 1976, 4, p. 1-1
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/24248">https://hdl.handle.net/11094/24248</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## ご 挨拶

理事長 釜 洞 醇 太 郎\*

時下、皆様には益々ご清祥のことと存じあげます。

平素は大阪癌研究会、対ガン運動に対しまして格段のご協力をたまり厚くお礼申し上げます。

ガンによる国民の死亡は少しも衰えず、昭和50年も13万人を突破し、さらに増加をつづけています。しかも働き盛りの成人層(35才から60才)では死因の第一位を占め、家庭的にも社会的にもその損失は大きく、ガン征圧は今や国民の悲願であります。

早期発見、早期治療が現在のところ唯一といってよいガンの予防手段であります。ガン撲滅の長期計画、施策を国をあげて強力に展開すべきであります。しかし、国としてはガン以外にも多数の問題をかかえております。したがって、われわれは国の施策に呼応して、一段と民間活動を充実して、ガン征圧に努力しなければなりません。

ガンの問題は大変難しく、医学のみならずいまや生命科学全体に及ぶ研究が必要であります。ガンの研究は着実にゆっくりと進んで居ります。その謎は一枚ずつペールを剥すように明らかになってきています。『ガンがわれわれ人類の手によってコントロールできる日の一日も早くやってくるように、当研究会としましてもガン研究の奨励助成をもっとやらなければならないと考えています。残念ながら資金不足のためどうしても研究会の活動はにぶりがちであります。しかし、ガン征圧の使命を考えると、ひるんでいてはだめであります。従来通り、乳ガン、胃ガン、子宮ガンなどの集団検診やガン啓蒙運動を展開するとともに、一層の拡大強化をはかりたいとお願いいたしております。

当研究会のため何時も変らぬご援助をたまわっている会員各位に対しましては、もっと親しく気軽に検診などのお役に立ちたいと考えて居ります。また、地域社会の皆様への講演会など催したいと存じますのでどうか、今後とも従来通りご後援、ご援助を賜りますようお願い申し上げます。

---

\* 大阪大学名誉教授